

【 第26回技術研修会 】

### 3社が新商品紹介

#### 兵庫設監が技術研修会

兵庫県建築設計監理協会（瀬戸本淳会長）は、神戸市中央区の神戸東急インで第26回技術研修会を開いた。会員ら約60人が参加。協力会会員3社が新商品を紹介した。冒頭、瀬戸本会長は「各社のすばらしい商品をよく勉強し、今後に生かしてほしい」とあいさつした。写真。

研修会では、ピアレックス・テクノロジーズの広瀬直輝営業部長がフッ素樹脂と光触媒を組み合わせた同社独自のコーティング剤「ピュアコー



トを紹介した。広瀬氏は「フッ素樹脂が浸水性を高め、光触媒で太陽光を活用し汚れを分解する」と一般的な低汚染塗料との違いを力説した。

また、LIXIL鈴木シャッター大阪支店の穂本辰巳営業開発グループ長が地下街などの浸水を防ぐ防水板「アピアガード」を紹介。水の浸入時に地中の集水バケットで集

まった水の重さで防水板が浮上する「オートバランスシステム」を採用し、停電時でも自動作動する。

ダイートレーディング営業・開発部の安達智氏はシンカリウム鋼板に自然石粒を接着した屋根材「D's Roofing」を紹介した。自然石粒はセラミックコーティングを施しているため耐久性に優れ、メンテナンス費用を軽減するほか、断熱・防音の効果も期待できる。安達氏は「耐久性や断熱性は瓦屋根と同等。50年程度は使っていただける」と高い性能をアピールした。